

1 特別活動で目指す生徒の姿

必要な役割を決めたり、それらを全員で分担したりして、協力し実践する生徒

2 特別活動の研究テーマ

学級の形成者として果たすべき役割を自覚する力を高める学習の在り方

3 研究テーマの具現に向けて

議題「学年目標を実現しよう」（令和7年9月・1年）では、学級生活の充実や向上のために、役割を分担して協力し合い実践する学習の中で、総合的な学習の時間で知ったそれぞれの強みを生かせる役割分担を考え、学級内の組織の活動について話し合っ合意形成を図る展開を位置付けた。総合的な学習の時間の単元「これからの社会に触れる私」では、自分の強みを発見、再確認する学習を行った。T生は授業の中で、「私の強みは気付いたことを発信し、みんなに注意できることだ。」と発言した。その後に行った議題「学年目標を実現しよう」では、T生は「最近、数学の問題集を持ってくることを忘れている友が多いから、忘れないように、連絡黒板に翌日の注意点を書いておきます。」と自分のやるべきことを決めた。T生は「日直は連絡黒板を見て翌日の注意点を確認し、午後の短学活で連絡してほしい。」と学級の友に協力を仰ぎ、役割を分担してやるべきことに取り組んだ。このようなT生の姿を、特別活動の研究テーマに近付いた姿だと捉えた。

そこで、「学年目標を実現するために、学級生活を向上しよう」（1年）の議題では、学級生活の充実や向上のために、主体的に組織をつくり、役割を分担して協力し合い実践する学習の中で、総合的な学習の時間や道徳で知ったそれぞれの強みを生かせる役割分担を考え、学級内の組織の意義や活動について話し合っ合意形成を図る展開を位置付ける。道徳では資料「みんなで成功させよう」【内容項目C(15)】において、よりよい集団の一員であるためには、どのような考えが大切なのかについて考えることで、「自他の強みをさらに生かして学級で生活していきたい。」などと思うだろう。教師は、短学活において、総合的な学習の時間と道徳とで実感した自分の強みを想起する場や、友と互いの強みを伝え合う場を設ける。生徒は、自分の強みを自覚し、役割を考えていくだろう。そして、同じ役割の友と協力し合っ活動していくだろう。

以上のような学習を積み重ねることで、特別活動の研究テーマを具現し、目指す生徒の姿に迫ることができると考えた。

4 議題名・学年

「学年目標を実現するために、学級生活を向上しよう」・1年

5 議題の目標 ※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している

- (1) 学級における生活上の役割を担う活動やグループ活動等の意義を理解することができる。 【(1) イ】
- (2) 話し合いを通して学年の目標の実現のために必要な組織を考えたり、自他のよさを生かした役割を分担したりして、互いに高め合うことができる。 【(1) イ】
- (3) 学級の課題解決に必要な役割を自覚し、実践することにより、他者と協力して学級や学校の生活を向上させようとしている。 【(1) イ】

6 議題の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知・技 学級における生活上の役割を担う活動やグループ活動等の意義を理解している。	思 話し合いを通して学年の目標の実現のために必要な組織を考えたり、他のよさを生かした役割を分担したりして、互いに高め合っている。	態 学級の課題解決に必要な役割を自覚し、実践することにより、他者と協力して学級や学校の生活を向上させようとしている。

7 学級の形成者として果たすべき役割を自覚する力を高めるための手立て

- 総合的な学習の時間や道徳で知ったそれぞれの強みを生かせる役割分担を考え、学級内の組織の意義や活動について話し合っ合意形成を図る展開を位置付ける。

8 議題展開 学級生活の充実や向上のために、主体的に組織をつくり、役割を分担して協力し合い実践する学習

全3時間扱い 本時は第2時

議題終末の生徒の振り返り（例）

- 同じような強みをもつ友とグループで話し合いをしたことで、自分たちの強みを生かせる取組を考えることができた。それぞれのよさを生かした役割ができて、やるべきことが明確になり、友と一緒に協力して取り組めた。私たちなら自分たちの強みを生かして取り組めそうなので、次の課題に向けても積極的に取り組み、学年目標「共創」を実現させたい。

段階	◆学習		評価の観点	時間
	教師の指導・支援	予想される生徒の反応		
導入①	◆学年目標を実現するために、自分たちが大切にしたい視点を基にして、解決すべき学級の課題を話し合っ決めて。		● 知 ● 技 ● 思	1
	【議題】学年目標を実現するために、学級生活を向上しよう。			
	・これまでの学習を振り返る場を設け、学年目標の三つの視点「協力・挑戦・個性」を再確認する	ア 前回課題とした「二分前学習」は係を中心に解決できたと思う。学年目標「共創」の「協力」という視点で見ても、みんな協力できた成果だ。		
	【小議題①】学年目標を実現するために、取り組むべき課題を決めよう。			
導入②	・一人一人思い当たる学級の課題があることを確認し、話し合いで課題を決めるように促す。	イ 次は「給食週番」という課題が最優先だとみんなで決めた。課題解決に向けて再び協力できれば、学年目標「共創」の実現に、さらに近付けるはずだ。		短学活
	・総合的な学習の時間や道徳で実感した強みを、友と伝え合う場を設ける。	ウ 私の強みは優しいことであると、総合的な学習の時間に友から教えてもらった。道徳の時間でも、フォロワーとして優しく注意することができそうだと気付けた。強みを生かしたいな。		
導入③	・自分の強みを生かして、どのような取組ができ、その役割は何かを記述する場を設ける。	エ 私は優しいという強みを生かして、優しく声を掛けたい。言い方に気を付ければ、相手だってそんなに嫌な思いはしないはずだ。私の役割は「声掛け」だろうか。		短学活
展開①	◆課題に対して、学級内の組織の意義や活動について合意形成を図り、役割を実践する。			短学活
	・同じ強みを持つ生徒でグループを編成し、話し合う場を設ける。 ・学級の課題を解決するための取組を考え、記述する場を設ける。	オ 私は給食の準備をするときに「身支度は大丈夫？」と給食当番の友に優しく声を掛けたい。 カ 私たちは給食週番が丸になるようにみんなに声掛けをしていきたい。前日の給食週番の結果を伝えたり、早目に給食当番の準備をすることを声掛けしたりして、給食週番への意識をみんなが高めたい。		

[illegible]